

共用試験公的化に関する アンケート調査結果

○令和3年度に実施した臨床実習開始前OSCEの実施状況について
アンケート調査を実施

○実施時期 令和4年3月4日～3月16日

○調査対象 会員82大学（国立43大学、公立8大学、私立31大学）

○回答 会員82大学（国立43大学、公立8大学、私立31大学）



一般社団法人 全国医学部長病院長会議
Association of Japan Medical Colleges

臨床実習前OSCEの実施状況

1) 実施時期 (令和3年度)

4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	9
9月	16
10月	14
11月	16
12月	15
1月	7
2月	4
3月	1

1日で実施	74	(校)
2日間で実施	8	

平日のみの実施	14	(校)
土日に実施 (2日間の場合はいずれかが土日である場合を含む)	68	

3) 受験生 受験学年 (校)

3年生	4
4年生	78

受験生数 回答校 (校)

合計	9,645	(人)
平均	117.6	
最大値	150	
最小値	76	

2) 実施課題数

1日で実施	(校)
6課題	57
7課題	12
8課題	5
9課題	0
10課題	0
11課題	0
12課題	0

2日間で実施	(1日目)	(2日目)	(課題)
a大学	5	1	
b大学	5	1	
c大学	5	1	
d大学	4	2	
e大学	4	3	
f大学	3	3	
g大学	1	5	
h大学	1	5	

4) 課題数と試験会場

①医療面接

課題数

回答校	82	(校)
0課題	0	(校)
1課題	78	
2課題	1	
3課題	2	
4課題	1	
5課題	0	

試験会場

回答校	82	(校)
1列	0	(校)
2列	1	
3列	1	
4列	5	
5列	16	
6列	30	
7列	7	
8列	16	
9列	1	
10列	3	
11列	1	
12列	1	

試験会場

ほとんどの大学がセミナー室やチュートリアル室等の教育関係施設を試験会場としているが82大学中6大学(7%)は、病院の外来診察室等を利用して実施している。

②身体診療

課題数

回答校	82	(校)
0課題	0	
1課題	1	
2課題	0	
3課題	0	
4課題	74	
5課題	7	

試験会場

回答校	82	(校)
1列	0	
2列	4	
3列	37	
4列	21	
5列	4	
6列	4	
12列	5	
16列	5	
20列	2	

試験会場

ほとんどの大学が講義室やチュートリアル室、セミナー室等の教育関係施設を試験会場としているが82大学中12大学(15%)は、病院の外来診察室等を利用して実施している。

③基本的臨床手技

課題数

回答校	65	(校)
0課題	18	
1課題	46	
2課題	1	
3課題	0	
4課題	0	
5課題	0	

試験会場

回答校	47	(校)
1列	1	
2列	3	
3列	25	
4列	13	
5列	5	
6列	0	
7列	0	
8列	0	
9列	0	
10列	0	
11列	0	
12列	0	

⑤その他の使用部屋数

(モニター室、受験生待機室、受験生控室、模擬患者控室 等)

1室以上ある校数	79	(校)
1～5室	15	
6～10室	37	
11～15室	14	
16～20室	9	
21～25室	3	
26～30室	0	
31～35室	0	
36～40室	1	

室数		(室)
合計	816	
平均	10.3	
最大値	39	
最小値	2	

※ 全回答数 80校
0室の回答 1校

④救急

課題数

回答校	66	(校)
0課題	15	
1課題	51	
2課題	0	
3課題	0	
4課題	0	
5課題	0	

試験会場

回答校	51	(校)
1列	1	
2列	2	
3列	26	
4列	19	
5列	1	
6列	2	
7列	0	
8列	0	
9列	0	
10列	0	
11列	0	
12列	0	

5) 参加者(2日間の場合は、延べ人数)

① 評価者等

ア) 学内評価者

1人以上いる校数	82	(校)
1～10名	0	
11～20名	2	
21～30名	6	
31～40名	9	
41～50名	23	
51～60名	14	
61～70名	16	
71～名	12	

人数	(人)
合計	4,385
平均	53.5
最大値	126
最小値	20

※ 全回答数 82校
0人の回答 0校

イ) 学外評価者

1人以上いる校数	40	(校)
1名	1	
2名	1	
3名	1	
4名	2	
5名	5	
6名	26	
7名	3	
8名	1	

人数	(人)
合計	224
平均	5.6
最大値	8
最小値	1

※ 全回答数 79校
0人の回答 39校

ウ) 機構(CATO)派遣運営監督者

1人以上いる校数	69	(校)
1名	60	
2名	7	
3名	0	
4名	0	
5名	1	
6名	1	
7名	0	
8名	0	

人数	(人)
合計	85
平均	1.2
最大値	6
最小値	1

※ 全回答数 81校
0人の回答 12校

②模擬患者(または運営補助者)

ア)医療面接

1人以上いる校数	82	(校)
1～5人	1	
6～10人	27	
11～15人	34	
16～20人	13	
21～25人	2	
26～30人	4	
31～35人	1	
36～人	0	

人数	(人)
合計	1,069
平均	13.0
最大値	31
最小値	4

※ 全回答数 82校
0人の回答 0校

イ)身体診察、基本的臨床手技、救急

1人以上いる校数	72	(校)
1～5人	4	
6～10人	12	
11～15人	6	
16～20人	7	
21～25人	14	
26～30人	3	
31～35人	6	
36～人	20	

人数	(人)
合計	2,133
平均	29.6
最大値	123
最小値	2

※ 全回答数 81校
0人の回答 9校

③試験実施要員

ア) 教員

1人以上いる校数	82	(校)
1～5人	26	
6～10人	17	
11～15人	12	
16～20人	8	
21～25人	3	
26～30人	4	
31～35人	1	
36～人	11	

人数	(人)
合計	1,507
平均	18.4
最大値	128
最小値	1

※ 全回答数 82校
0人の回答 0校

イ) 事務職員

1人以上いる校数	82	(校)
1～5人	0	
6～10人	3	
11～15人	7	
16～20人	18	
21～25人	19	
26～30人	15	
31～35人	6	
36～人	14	

人数	(人)
合計	2,107
平均	25.7
最大値	56
最小値	10

※ 全回答数 82校
0人の回答 0校

ウ) その他(学生等)

1人以上いる校数	25	(校)
1～5人	11	
6～10人	6	
11～15人	1	
16～20人	1	
21～25人	1	
26～30人	0	
31～35人	1	
36～人	4	

人数	(人)
合計	338
平均	13.5
最大値	51
最小値	1

※ 全回答数 71校
0人の回答 46校

共用試験の公的化に伴う課題について

1) 8課題の実施について

可能と回答した大学は、回答した81大学のうち、33大学(40.7%)であった。
その他の大学は以下の内容の支援が必要との回答であった。

2) 必要な支援(複数回答)

	(校)
1 実施のための財政支援(消耗品、シミュレーター等) 評価者の確保	36 (43.9%)
2 外部模擬患者への旅費・謝金等の財政支援	34 (41.5%)
3 学内参加者への手当等の財政支援	26 (31.7%)
4 評価者の確保についての支援	36 (43.9%)
5 模擬患者の確保についての支援	42 (51.2%)
6 試験実施要員の確保についての支援	22 (26.8%)
7 会場の確保についての支援	19 (23.2%)
8 その他	6 (7.3%)

3) 共用試験の実施時期が8月第3月曜日(校)から翌年2月までとなる場合

	(校)
1 可能	78
2 不可能	3

不可能な理由

・8月第1週からを希望 1校

・翌3月までに実施を希望 2校

4) 自大学養成で自大学の実習に参加した模擬患者(医療面接)の自大学実施の臨床実習前OSCEの模擬患者としての担当について

(校)

1 担当させて良い	64	(79.0%)
2 担当させない方が良い	9	(11.1%)
3 その他	8	(9.9%)

5) 不正防止の観点から医学生を身体診察などの模擬患者(または運営補助者)として担当させないことについて

(校)

1 不正などが一部見られることから、担当させないことでやむを得ない	17	(21.0%)
2 標準模擬患者(または運営補助者)の確保は難しく、医学生が担当するのはやむを得ない	22	(27.2%)
3 医学生の模擬患者(または運営補助者)としての参加は、医学生の教育の観点から意義があるので担当させてよい。	28	(34.6%)
4 その他	14	(17.3%)

6) 共用試験における不正行為への対応について(複数回答)

(校)

1 公的化及び公平性の観点から厳しい対応が必要である	62	(75.6%)
2 実施大学の判断に任せるべきである	23	(28.0%)
3 問題漏洩の懸念は、問題を公開することでなくなるのが期待できる	30	(36.6%)
4 その他	10	(12.2%)

7) 共用試験を実施するにあたり、苦勞している点(複数回答可)

(校)

1 働き方改革の中での教職員の負担増	78 (95.1%)
2 学内の協力体制	62 (75.6%)
3 模擬患者の確保	75 (91.5%)
4 学内評価者の確保	76 (92.7%)
5 会場の確保	59 (72.0%)
6 当日の会場設営	67 (81.7%)
7 シミュレーター等の確保	60 (73.2%)
8 共用試験当日の試験実施要員の確保	66 (80.5%)
9 その他	32 (39.0%)